

外来種

特定外来生物

緊急対策外来種



オス

大阪府大和川産



メス

大阪府大和川産

カダヤシはオスとメスで体形や体長・形態などが大きく異なる。
 外観的にメダカと似て混同されるが、全く違う種類で分類学的には大きく異なる。
 ◇カダヤシは、カダヤシ目 カダヤシ亜目 カダヤシ科の魚類。
 ◇メダカは、ダツ目 メダカ亜目 メダカ科の魚類で、分類学的には大きく異なる。

このページの写真は、近畿大学水圏生態学研究室より提供頂いた写真です。

北潟湖水系では、まだ生体の確認にまで至っていない。確認後に写真を掲載いたします。

カダヤシ科 カダヤシ属 【全長】♂3cm ♀5cm

カダヤシ

学名: *Gambusia affinis*

分布域

国内では福島県～沖縄島の各地に定着しているといわれる。
 ※ 原産地はアメリカ中南部。

生息域

水田・用水路・湖沼・沼など暖流域。

写真はありません。

全長が、オスで3cm・メスで5cm前後と小型魚類。外観はメダカに似るが、臀鰭は背鰭より前方に位置し、尾鰭の後縁が丸いなどで識別は容易。日本には蚊の幼虫(ボウフラ)退治の目的で輸入・放流された。

オスの臀鰭は棒状で交尾器の役割を果たす。水温は4～38度適応し、海水の2倍近い塩分にも耐え、汚染にも強い。動物プランクトンや藻類・落下昆虫などを食べる。卵胎生で直接仔魚を産む。

絶滅危惧種になった在来種のメダカと置き換わったという報告がある。現在は特定外来生物に指定され、駆除対象種である。2020年の北潟湖の環境DNA調査で見つかった。ただ、生体は確認されていない。

外来種

純淡水魚

※ 北潟湖の2020年度に行った環境DNA調査で生息が確認されたが、その他の調査では見つからない。冬季の水温状況など、北潟湖の環境で定着できるのか疑問がある。